

松代病院の無床診療所化について

令和7年度第2回魚沼圏域地域医療構想
調整会議 議題（1）追加資料①

現状・課題

1 小規模組織としての限界

- ・1病棟のみの小規模病院で医療人材や施設・設備に限界
- ・診療範囲が限定されることで、受入れ可能な患者に限られる（結果として病床稼働率が低下）
- ・救急車の受入にも限界がある

2 医療スタッフの確保

- ・病棟維持の要件である医師3名の確保が来春以降困難、その他の医療スタッフの確保にも苦慮

3 入院患者数の減及び患者像の変化

- ・入院患者の半数以上を占める後期高齢者は「多病」、「多様」、「非定型」の特徴を有し、複数疾患の同時併発や急変への対応、スムーズな在宅復帰への支援等が必要



入院機能を十日町病院に移行、地域の身近な医療（プライマリ・ケア）を支える拠点に変更

診療所化後の機能

① 地域住民の健康を支える プライマリ・ケア （外来機能の維持）

現在の松代病院の診療科（内科、整形外科、精神）と診察枠を維持します。

診療科	診療時間	月	火	水	木	金
内科	午前	○	○	十日町病院 医師	○	○
	午後	○	予防接種 禁煙外来		予防接種	
整形外科	午前	—	—	奇数週	—	—
精神科	午前	—	—	第2週	—	—

② 地域住民の生活を支える 在宅医療ケア （訪問診療・訪問看護）

現在の診察枠を維持します。

区分	診療時間	月	火	水	木	金
訪問診療	午後	—	—	○	○	○
訪問看護	午前または午後	○	—	○	—	○



③ 地域の介護施設等 と医療の窓口の役割

地域の施設との連携・協力や在宅需要増にも対応できるよう窓口機能を整備します。

また、現在精神科外来で行っているオンライン診療（遠隔診療）等のデジタル技術の在宅医療への活用についても新潟大学等と協力し、検討・導入を進めていきます。

松代診療所（仮）と十日町病院が目指す姿

